

明細書には前年度に申告があった償却資産の内容が記載されています。

- 資産を新規に取得した場合には、余白部分に増加した資産を記入してください。
- 明細書に記載されている資産に訂正、減少、削除がある場合には修正してください。

記入例

所有者コード		令和 年度 償却資産種類別明細書										所有者名				頁						
01234567												株式会社 ○○○				1/1						
異動区分	増	訂	減	削	資産の種類	資産コード	資産の名称等	数量	取得年月			取得価額	耐用年数	減価残存率	価 格		課税標準の特例		課税標準額	減少区分	増加事由	摘要
									年号	年	月				率	コード	1:全部	2:一部				
1	2	3	4	2	1111	天井走行クレーン	1	4	7	1	51092000	6			/				1・2		耐用年数の申告誤り	
1	2	3	4	2	1112	骨材輸送設備	1	4	7	1	58610000	6			/				1・2			
1	2	3	4	2	1113	電気動力設備 電気設備	1	4	7	1	12428000	6			/				1・2		名称誤り	
1	2	3	4	2	1133	試験用圧縮機	1	4	4	2	80000	6			/				1・2		売却	
1	2	3	4	2	1134	エアークンプレッサー	2	3	55	7	546000	6			/				1・2			
1	2	3	4	6	1202	コピー機	1	4	20	2	500000	5			/				1・2		リース資産	
1	2	3	4	2	1210	自動販売機	1	4	21	7	1080000	5			/				1・2			
1	2	3	4	1		アスファルト舗装工事	1	5	3	3	1386000	10			/				1・2		1 新規	
1	2	3	4	3		船舶	1	5	3	10	25500000	7			1 / 2	506			1・2		1 新規	
1	2	3	4	6		パソコン	1	5	1	12	320000	4			/				1・2		4 申告漏れ	

①増加の場合は、異動区分「1」に○印をつけてください。

②該当する資産の種類番号と資産の名称を記入してください。

- 1 構築物
- 2 機械及び装置
- 3 船舶
- 4 航空機
- 5 車両及び運搬具
- 6 工具・器具及び備品

③資産の数量と取得年月を記入してください。

⑤減価償却資産の法定耐用年数(大蔵省令)を記入してください。

④当該資産を取得するために支出した金額を記入してください。
 なお、改良費等の支出は、本体部と区別して記入してください。
 また、圧縮記帳されている資産については圧縮記帳前の取得価格を記入してください。

⑥増加理由の番号等を記入してください。

- 1 新品取得
- 2 中古品取得
- 3 異動による受け入れ
- 4 その他

令和4年(R4.1.2~R5.1.1)中に新規に資産を取得したときの記入例

長野県南佐久郡佐久穂町

裏面もご覧ください。

昨年度申告した内容を訂正するとき

訂正するときは、異動区分の「2」に○印をつけ、訂正する部分を赤字で訂正し、右端の摘要欄に理由等を記入してください。

【例1】前年度申告した際に記入した耐用年数に誤りがあり、訂正するとき

異動区分				資産の種類	資産コード	資産の名称等	数量	取得年月			取得価額	耐用年数	減価残存率	価格		課税標準の特例		課税標準額	減少区分 1:全部 2:一部	増加事由	摘要
増加	訂正	減少	削除					年号	年	月				率	コード						
1	2	3	4	2	1111	天井走行クレーン	1	4	7	1	51092000	6				/			1・2		耐用年数の申告誤り

【例2】前年度申告した際に申告した取得価額に誤りがあり、訂正するとき

1	2	3	4	2	1112	骨材輸送設備	1	4	7	1	52000000	6				/			1・2		金額訂正
---	---	---	---	---	------	--------	---	---	---	---	----------	---	--	--	--	---	--	--	-----	--	------

【例3】明細書に記載されている資産の名称等に誤りがあり、訂正するとき

1	2	3	4	2	1113	電気動力設備 電気設備	1	4	7	1	12428000	6				/			1・2		名称誤り
---	---	---	---	---	------	---------------------------	---	---	---	---	----------	---	--	--	--	---	--	--	-----	--	------

令和4年中に廃棄・売却等により資産が減少したとき

※※ 注意 ※※
耐用年数が経過し減価償却が終了した資産であっても、事業の用に供しているものは減少資産に該当しません。

資産が減少したときは、異動区分の「3」と減少区分に○印をつけ、右端の摘要欄に理由等を記入してください。

【例4】令和3年中に試験用圧縮機を売却したとき

異動区分				資産の種類	資産コード	資産の名称等	数量	取得年月			取得価額	耐用年数	減価残存率	価格		課税標準の特例		課税標準額	減少区分 1:全部 2:一部	増加事由	摘要
増加	訂正	減少	削除					年号	年	月				率	コード						
1	2	3	4	2	1133	試験用圧縮機	1	4	4	2	80000	6				/			1・2		売却

【例5】取得価額が2台で546,000円のエアークンプレッサーのうち、1台220,000円のを廃棄したとき

1	2	3	4	2	1134	エアークンプレッサー	1	3	5	7	220000	6				/			1・2		一部廃棄
---	---	---	---	---	------	------------	---	---	---	---	--------	---	--	--	--	---	--	--	-----	--	------

前年度に誤って申告した資産を削除するとき

※※ 注意 ※※
廃棄・売却等により減少した資産は、異動区分「3」の減少で申告してください。

申告する必要のない資産を誤って申告したときは、異動区分の「4」に○印をつけ、右端の摘要欄に理由等を記入してください。

【例6】リースしているコピー機を償却資産として前年度に誤って申告したものを削除するとき

異動区分				資産の種類	資産コード	資産の名称等	数量	取得年月			取得価額	耐用年数	減価残存率	価格		課税標準の特例		課税標準額	減少区分 1:全部 2:一部	増加事由	摘要
増加	訂正	減少	削除					年号	年	月				率	コード						
1	2	3	4	6	1202	コピー機	1	4	20	2	500000	5				/			1・2		リース資産